

ながとじん 長門人



石川 仁子 さん

いしかわ のりこ / 昭和60年生
水産高等学校 3年 / 通5区

水産科学部の活動

― 連絡帳 ―

私は水産高校で水産科学部に所属しています。その活動も3年目を迎えました。昨年度は種類の近い海藻を細胞融合させ新しい海藻をつくることを試みしました。その研究により全国水産高等学校生徒研究発表会にも出場することができました。

今年度は新しい研究に挑戦しています。今回のテーマも海藻の有効利用で、海藻から肥料をつくるというものです。細かくした海藻を乾燥したものと発酵させたものとの2つのパターンで調べてみようと考えています。この研究が成功すれば、海岸に打ち上げられてゴミと化している海藻を肥料として有効に活用できるとともに、海藻の処分に



昨年度の全国水産高等学校生徒研究発表会
(平成14月12・13日 / 宮城県気仙沼市)

よって美しい海岸線を保つことにもつながり、一石二鳥です。この研究を通じて、大好きな地元の海岸環境の改善に貢献できたら良いと思っています。



立野 悦子 さん

たつの えつこ / 昭和55年生
北九州市小倉区在住 / 板持4区出身
会社員

いつも心の底に在る故郷

― ふるさとながと・こんにちは ―

長門生活歴約9年の私ですが、今のところ人生で一番長く過ごしてきたのはこの長門で、これからはもずっと帰る場所は、この長門。小学校4年から高校3年まで長門で過ごし、今は北九州市小倉で新社会人として働いています。

中学時代は、バスケット部の厳しい練習に毎日追われつつも、そこで素晴らしい仲間に出会えたし、高校時代もたくさんの人に出会えて視野を広げることができました。そして、夢や希望を人一倍抱いていた田舎娘の私は、長門を離れてももっとも自分の世界を広げてきたつもりです。自由奔放にやってこれたのも、いつも優しく見守ってくれた長門の家族や友達のおかげです。帰るたびに、綺麗な海と大好きな温泉にも癒さ

れます。やっぱり帰る場所があります。ついでですね！

それと私の好きな金子みすゞさんの詩、「みんなちがってみんないい」は常に心に留めています。一人一人の個性を認め、温かい心をもった思いやりのある人間として、人に接していきたいからです。こんな素晴らしい詩に出会えたのも長門のおかげ。これからの時間があれば帰ってきて、長門の良さを再確認したいです！



中学校の卒業式でバスケット部の仲間と
(後列左から3番目が立野さん)